

仮名

桂本万葉集

源兼行 平安時代・十二世紀中頃

教科書 47ページ 宮内庁蔵

読み

天地之神毛助与草枕羈行君之至家左右
あめつちのかみもたすけよくさまくら
たびゆくきみがいへにいたるまで

〔万葉集〕549

大船之念憑師君之去者 吾者将恋名

直相左右二

おほふねのおもひたのみしきみがいなば
われはこひむなたゝにあふまでに

〔万葉集〕550

歌の意味

天地の神よ、守り助けてください。旅立って
いく君が家に着くまで。

大船のように頼りに思っていた君が行ってし
まったならば、私は恋しくなるだろうな。ま
た直接会えるまで。

